

**県立特別支援学校通学用バス運行ルート等調査研究事業  
受託候補者選定基準**

**1 目的**

県立特別支援学校通学用バス運行ルート等調査研究事業受託候補者の決定方法を定める。

**2 審査項目及び配点**

審査項目及び配点は表のとおりとする。

審査は、各選定委員が表の審査項目ごとに5段階評価を行い、100点満点で換算する。

「仕様書の想定する基準を大幅に超えた魅力ある提案内容」＝5点、「基準を超える提案内容」＝4点、「おおむね基準と同等の提案内容」＝3点、「基準を満たすためには、一部改善を要する提案内容」＝2点、「大幅に改善を要する提案内容」＝1点

|          | 審査項目               | 審査基準                                                    | 換算係数   | 配点  |
|----------|--------------------|---------------------------------------------------------|--------|-----|
| 客観的評価    | 1 業務理解・課題認識        | 事業目的、現状課題、特別支援学校運行の特性を理解しているか                           | × 2. 0 | 1 0 |
|          | 2 類似業務実績           | スクールバス、福祉輸送、路線バスの路線計画、再編等の実績があるか                        | × 2. 0 | 1 0 |
|          | 3 見積金額             | 提案上限額 (4,730,000 円) 以内かつ妥当で無理がなく、適切な価格になっているか。          | × 2. 0 | 1 0 |
| 業務遂行上の評価 | 4 調査・分析手法の妥当性      | 現状分析の方法が具体的か、定量・定性の両面があるか。                              | × 2. 0 | 1 0 |
|          | 5 ルート最適化・増便等検討の提案力 | 見直し案の提示力や複数案の提示による比較検討、学校の実態を踏まえた具体的な提案をすることが可能と認められるか。 | × 3. 0 | 1 5 |
|          | 6 提案内容の説得力・有用性     | 現場で実際に実行できる内容となっており、論理的で説得力がある提案が可能であると認められるか。          | × 3. 0 | 1 5 |
|          | 7 安全性・配慮事項への対応     | 児童生徒の特性に応じた配慮や車内環境、長時間乗車対策、安全対策を踏まえているか                 | × 2. 0 | 1 0 |
|          | 8 関係者調整・コミュニケーション力 | 学校、県担当課、運行事業者等とコミュニケーションをとり、情報収集や追加検討への対応・調整ができるか       | × 2. 0 | 1 0 |
|          | 9 スケジュール管理・進行計画    | 体制、役割分担、進行管理ができ、調査、分析、協議、報告の工程が明確かつ、期限内に確実に遂行できるものであるか  | × 2. 0 | 1 0 |
| 合 計      |                    |                                                         | 1 0 0  |     |

### 3 業者選定条件

- (1) 仕様書に示す項目を全て満たしていること。
- (2) 上記2による評価において、各選定委員の合計点数の和である総合計点数が300点以上であること。
- (3) 上記2による評価において、2名以上の選定委員が、「大幅に改善を要する提案内容」と評価する審査項目があった事業者は選定しないものとする。

### 4 受託候補者の決定方法

上記3に示す条件を満たす事業者が複数いる場合は、総合計点数が高い順に順位を決定する。総合計点数が同点の場合は、選定委員長が順位を決定する。第一順位者を受託候補者に決定する。なお、第一順位者が契約を締結しないときは、次点の者を受託候補者に決定する。